

一步踏み出すために

水ユニット

# ◆事例対象者の情報

名前 A様  
性別 女性  
年齢 95歳  
既往歴 腰部脊柱管狭窄症  
左大腿骨転子部骨折（H30）

ご家族の希望で足の痛み軽減のため  
膝にヒアルロン酸注射を月2回ほど  
行っている。



# ◆対象者設定の経緯

入所時は歩行器と車椅子を兼用していた

ふらつき

転倒リスク

見守りやすさ

日常的に車椅子で移動することが多くなっていた

歩行能力維持を目的にA様に決定



# ◆今回の事例研究で行ったこと

12月

- ・ 自席・トイレ・居室間の移動で歩行器を使用する
- ・ 車椅子を使用している際でもフロアでは席に移り替える



**下肢筋力の維持**

# ◆今回の事例研究で行ったこと

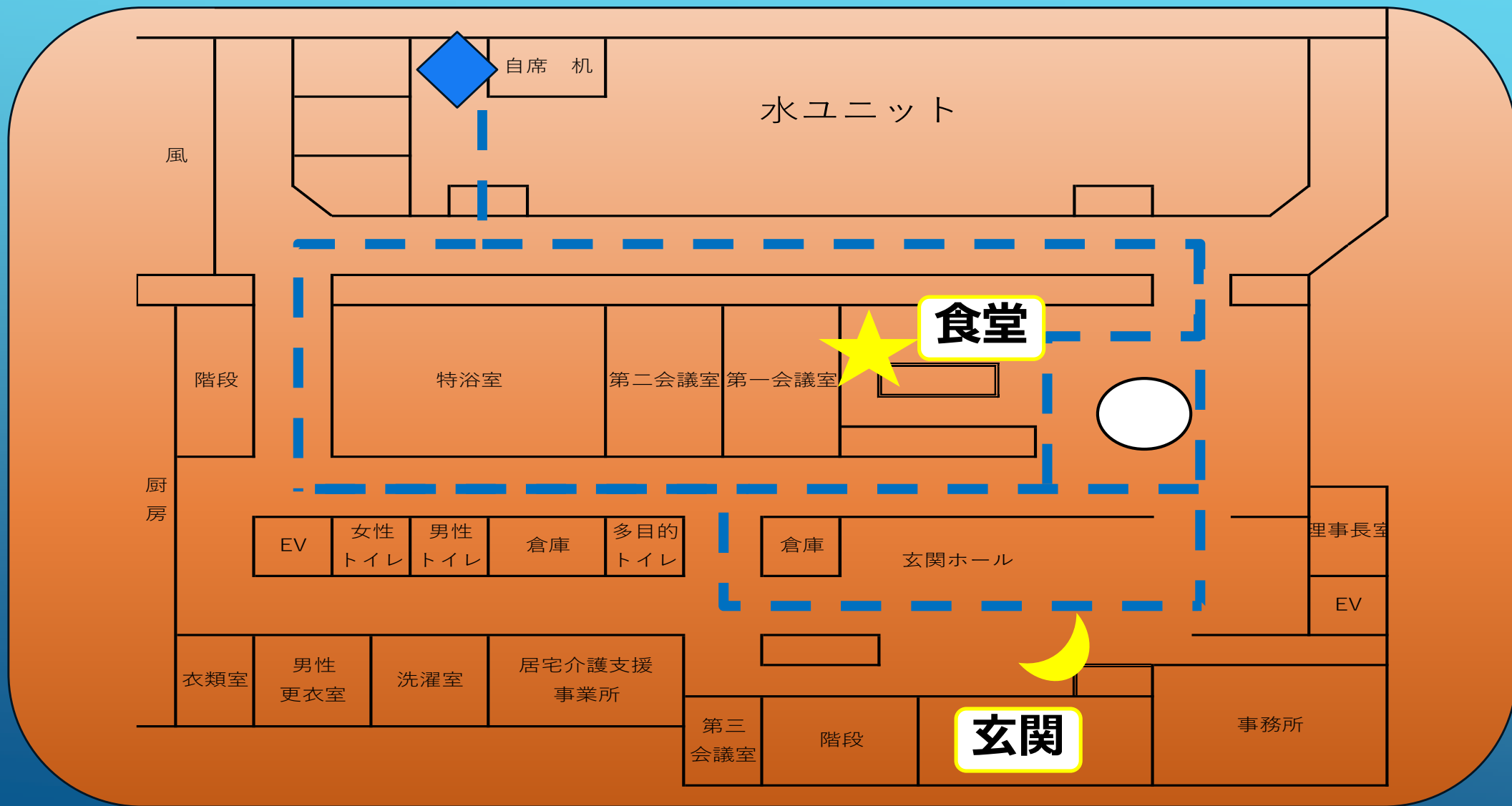
1月以降

- ・職員食堂まで歩いておやつを購入
- ・通院時には玄関まで歩行器を使用すること



**歩行能力の向上**

# ◆ルート図



## ◆結果

- 日常生活を歩行器で過ごすこと ○  
ふらつき見られず歩行スピード向上  
見守り程度で歩けるようになった
- 病院の受診で玄関までの往復 ○



## ◆考察



①車椅子での移動を続けていた場合  
よりもっと身体能力が低下していた→**介助負担増加**

②歩く能力のある利用者の方の機能を奪っていた

## ◆最後に・・・

☑リハビリから余暇活動が充実し不穩の緩和に繋がる

☑リハビリ＝「難しそう」「大変」というイメージ  
→生活の中にもリハビリになる事が多い

☑リハビリへの観点を持つこと、実践することの重要性



ご清聴ありがとうございました。

